

■第15回企画展 「カメの不思議」

期 間： 2015年7月17日(金)～8月29日(土)

開催時間： 10:00～16:00

休 館 日： 日・月曜日、  
8月9日(日)～8月17日(月)

観 覧 料： 無料

会 場： 香川大学博物館

入 場 者：

第15回企画展	1,265 名
かがわ子ども大学(第38回ミュージアム・レクチャー)	50 名
講演会 平山廉氏「カメのきた長いみちのり」	71 名
移動博物館車「ゆめはく」	244 名
合計	1,630 名

主 催： 香川大学博物館

協 力：

香川大学工学部安全システム建設工学科角道研究室  
香川大学農学部附属農場  
兵庫医科大学解剖学講座細胞生物部門  
神戸市立須磨海浜水族園  
株式会社自然回復  
兵庫県立 人と自然の博物館



※画像クリックでPDFファイルを開きます。

<企画展内容>

種々のカメの剥製標本を展示し、骨格標本でカメと他の動物を比較することによって、甲羅を有するカメの進化と多様性について紹介しました。また、日本固有のニホンイシガメをクサガメやミシシippアカミミガメと比較し、外来種問題の現状と対策について考えました。

さらに会期中には、以下の3つの関連行事を行いました。

①体験教室「親子でカメキャッチーため池観察会」

7月25日(土)9:30～11:30・農学部附属農場にて、かがわ子ども大学(第38回ミュージアム・レクチャー)、

対象：親子15組

②講演会「カメのきた長いみちのり」

7月31日(金)13:00～14:30・香川大学OLIVE SQUARE多目的ホールにて、講師・平山廉氏(早稲田大学国際教養学部教授)、内容：カメが地球上に現れてから2億2千万年にもなりますが、衰えるどころか現在も世界に約300種が知られています。カメの化石は実に豊富ですが、その一端を紹介しました。

対象：小学生～一般 定員：100名(参加無料)

③移動博物館車「兵庫県立 人と自然の博物館『ゆめはく』」

8月21日(金)13時～16時、22日(土)10時～16時・香川大学博物館前、カメや虫の標本展示や体験プログラムを開催しました。

## ■展示内容



種々のカメの剥製標本や骨格標本をパネルや写真等で紹介。

## ■かがわ子ども大学(第38回ミュージアム・レクチャー)「親子でカメキャッチーため池観察会」

開催日：7月25日(土)9:30～11:30

参加者数：親子22組、50名

講師：谷口真理氏（神戸市立須磨海浜水族園研究員・香川大学大学院工学研究科）



前日からため池に設置した捕獲網を引き上げ、掛かっていた生物を観察しました。

■講演会「カメのきた長いみちのり」

開催日：7月31日(金)13:00～14:30

参加者数：71名

講師：平山廉氏(早稲田大学国際教養学部教授)



なぜカメは甲羅があるのかや進化の過程などについて、ご講話いただきました。

【参加者の感想】

- ・カメについて考える機会など、今まで全くありませんでしたが、今回の講演会で「カメ」というものにすごく興味が湧きました。
- ・カメが好きになりました。
- ・とても大きなカメが存在していることを知り驚きました。また、カメの特徴なども詳しく教えていただけて良かったです。

■移動博物館車「兵庫県立 人と自然の博物館『ゆめはく』」

開催日：

8月21日(金)13:00～16:00

8月22日(土)10:00～16:00

参加者数：

8月21日(金) 午後 92人  
8月22日(土) 午前 74人、午後 78人



企画展に関するカメや虫の標本展示や楽しい体験型プログラム「むしむしみっけ」を開催しました。